

## 5 施設サービスの状況

### (1) 要介護状態区別にみた単位数・受給者1人当たり費用額

各施設サービスの1年間の単位数は、介護福祉施設サービスが最も高く、次いで介護保健施設サービス、介護療養施設サービスとなっている。なお、要介護状態区別にみると、介護福祉施設サービスでは「要介護4」「要介護5」の割合が多く、介護保健施設サービスでは「要介護3」「要介護4」の割合が多く、介護療養施設サービスでは「要介護5」の割合が多くなっている。(表10)

また、平成28年4月審査分の施設サービス別受給者1人当たり費用額をみると、いずれの施設サービスも要介護状態区分が高くなるほど費用額も高くなっており、特に介護療養施設サービスではその差が大きい(図10)。

表10 施設サービス別にみた要介護状態区別単位数

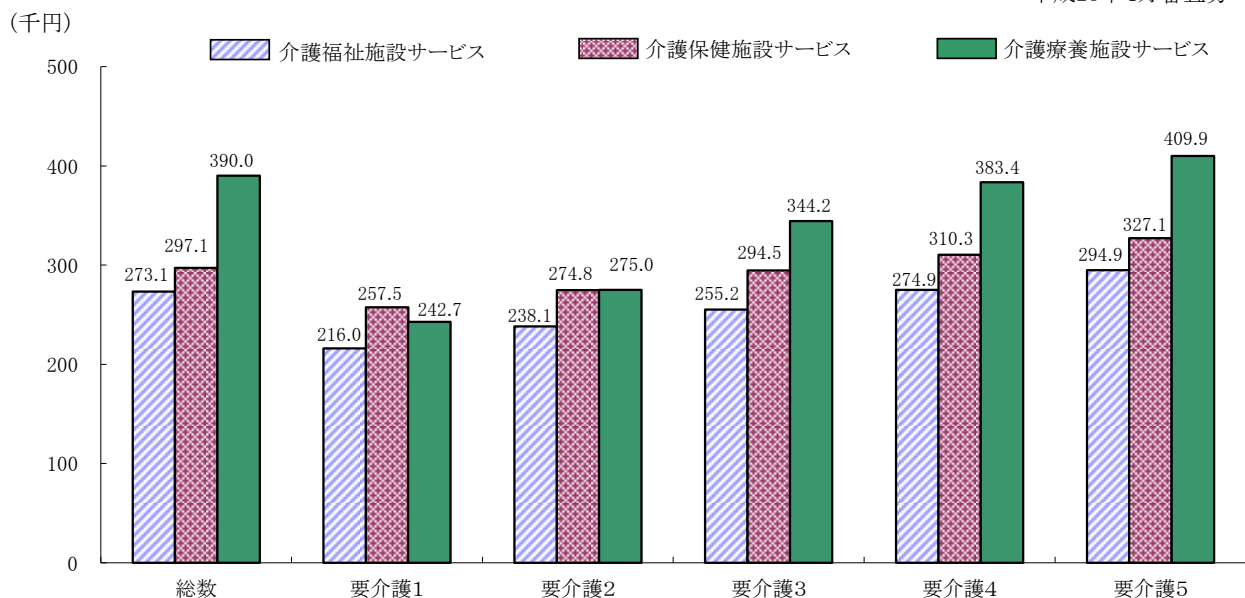
平成27年5月審査分～平成28年4月審査分

	介護福祉施設サービス		介護保健施設サービス		介護療養施設サービス	
	単位数 (百万単位)	構成割合 (%)	単位数 (百万単位)	構成割合 (%)	単位数 (百万単位)	構成割合 (%)
総数	163 004	100.0	121 975	100.0	26 056	100.0
要介護1	3 385	2.1	11 414	9.4	194	0.7
要介護2	10 669	6.5	20 624	16.9	478	1.8
要介護3	34 073	20.9	29 252	24.0	1 766	6.8
要介護4	56 565	34.7	34 588	28.4	8 516	32.7
要介護5	58 312	35.8	26 097	21.4	15 102	58.0

注：総数には、月の途中で要介護から要支援に変更となった者を含む。

図10 要介護状態区別にみた施設サービス別受給者1人当たり費用額

平成28年4月審査分



注：受給者1人当たり費用額 = 費用額 / 受給者数

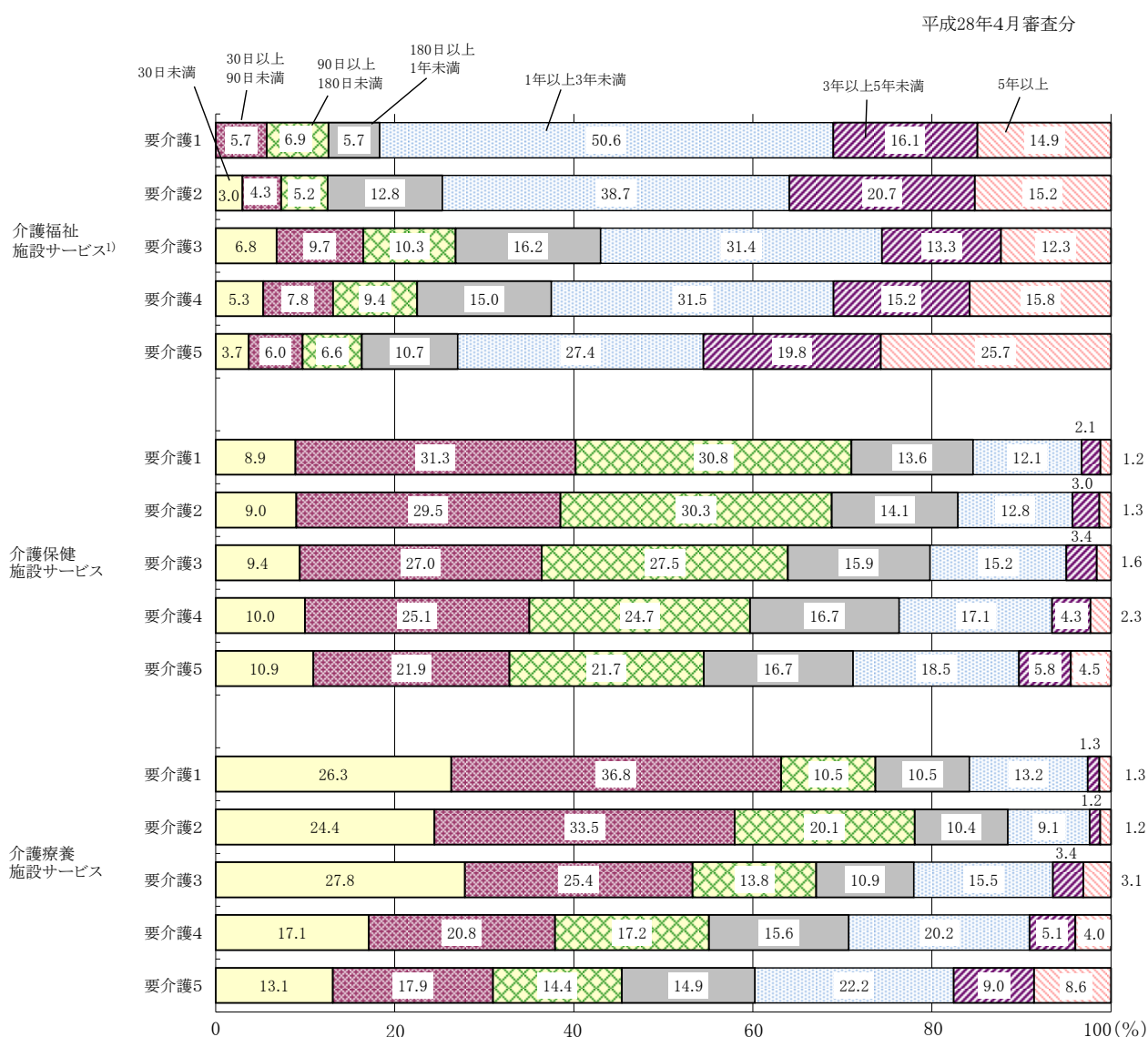
## (2) 退所(院)者の入所(院)期間別割合

平成28年3月中に退所(院)した施設サービス受給者について、要介護状態区別に入所(院)期間の割合をみると、介護福祉施設サービスでは、いずれの要介護状態区分でも「1年以上3年未満」の割合が最も多い。

介護保健施設サービスでは、要介護状態区分が高くなるに従って、1年以上の割合が多くなっている。

介護療養施設サービスでは、「要介護1」～「要介護3」では90日未満の割合が5割を超え、「要介護5」では「1年以上3年未満」の割合が最も多い。(図11)

図11 施設サービス・要介護状態区別にみた退所(院)者の入所(院)期間別構成割合



注：1)介護福祉施設サービスには、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護を含む。